

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.2 2009年1月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ポリコムジャパン、小規模会議室向け、Bluetooth 対応音声会議システムを発表



Polycom VoiceStation (ポリコムボイスステーション)

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、SOHOや小規模な打合せスペースでの音声会議システムの新製品「Polycom VoiceStation(ポリコム ボイスステーション)」シリーズを発表した。(1月26日)

今回発表された製品は、「Polycom VoiceStation 300」および「Polycom VoiceStation 500」の2機種。両者とも一般電話回線(プッシュ回線)に対応している。

従来の音声会議システムと比べ、手ごろな価格で導入できるほか、Polycom SoundStation シリーズと比較して 33%小型化されている。

SoundStation シリーズは小規模から大規模のさまざまな会議室に適しているが、一方 VoiceStation は、個人の机や小さなテーブルなどでの使用を想定している。

Polycom VoiceStation シリーズは、コンパクトなデザインながら、高性能スピーカーと3個の360度対応高感度マイクを搭載し、集音範囲は、2.1m で3~4名程度の会議を想定して設計されている。また同時に双方向の通話が可能で、明

瞭な音質を実現する同社のアコースティッククラリティ技術や、室内や周囲の雑音を遮断するダイナミックノイズリダクション技術を採用している。

Polycom VoiceStation 500 は、Bluetooth 無線機能を内蔵している。これにより携帯電話に無線接続して音声会議を行うことが可能。さらに Polycom VoiceStation 500 は、同梱の PC コールキットで PC の音声ジャックに接続することにより、Skype などのインターネット電話を利用して音声会議を行うこともできる。



Polycom VoiceStation 上から見た写真

Polycom VoiceStation 300 および Polycom VoiceStation 500 は、プラチナパートナーのプリンストンテクノロジー株式会社をはじめ、大手量販店、大手オンラインストアなどを通じて1月28日より販売開始。価格はオープン。

アイ・ティ・テレコム、プレゼンス機能、管理画面機能のオプション搭載が可能な Web 会議の販売開始

アイ・ティ・テレコム株式会社(東京都港区)は、Web 会議サービス「MORA Video Conference Ver7.0(ASP モデル)、Ver7.0i(サーバ導入モデル)」の販売を開始した。(1月18

日)

今回のバージョンアップでは、標準サービスの強化を図るとともに、新たに3つの機能をオプションサービスメニューとして追加した。



MORA Video Conference(モーラ・ビデオコンファレンス)

標準サービスの強化としては以下の通り。(1)Internet Explorer 以外の Web ブラウザに対応。FireFox 2.0、Opera 9.5、Safari 3.1、Google Chrome 0.2、Netscape 7.1、Mozilla 1.4(それぞれのバージョン以降をサポート)。対応 OS は、Windows2000/XP/Vista。

(2)単一ウィンドウ表示機能。映像、ホワイトボード、資料共有、文字チャットなどの画面をユーザー毎に自由にレイアウトできる従来のユーザインターフェイスに加えて、各画面をひとつのウィンドウ内に固定して表示することができる機能を今回追加。

(3)ASP サービス・サーバーシステムの強化。Web 会議サービス利用の増大に対応するために、サーバーシステムの機能や構成の強化を実施。

また一方オプションサービスとしては以下を追加した。

(1)プレゼンス機能。MORA Video Conference をより手軽に利用できるようにプレゼンス機能を追加した。この機能でメンバー同士でのオンライン状況表示、メッセージの交換、会議室への招集が可能。

(2)管理者用ツール(AdminTool)機能。(サーバ導入モデル:標準搭載)会社毎に登録されたユーザID及び会議室の

情報や利用状況が一元管理可能な機能を追加。

(3)多人数モード(セミナーモード)議長権の仕様変更機能。多人数モードの会議室において、メインユーザーのみ軌道可能であった資料共有及びアプリケーション共有機能を発言者も行えるよう拡張。(サーバモデルでは、多人数モード及びアプリケーション共有機能は標準搭載)

新バージョンの提供開始時期は、1月18日から。

提供料金は、ASP サービスについては、初期費用(税抜き)が78,000円/ID、月額費用3,000円/ID。またサーバ導入モデルでは、178万円(ライセンス料のみ)~。別途必要に応じカスタマイズ費、設計、構築費が必要。ライセンスモデルは、10、20、50、100、200、500、1000ライセンスで提供している。

導入利用事例

沖電気カスタマアドテック、北陸労働金庫へ Visual Nexus を納入、55 拠点で稼働

株式会社沖電気カスタマアドテック(東京都江東区)は、北陸労働金庫(石川県金沢市)に対して、沖電気工業のビデオ会議システム「Visual Nexus(ビジュアルネクサス)」を納入したと発表。構築、導入、保守・運用等は、沖電気カスタマアドテックがワンストップで提供。(1月13日)



北陸労働金庫では、Visual Nexus を55拠点にて稼働開始し、本部・支店間の迅速なコミュニケーションや情報共有の強化と来店顧客へのサービス強化を推進する一

環で導入する。本部・支店間での遠隔会議や研修などを定期的に開催したりすることで情報共有の強化を推進、また将来的には、来店者の最寄りの支店から本店に常駐する金融サービスのエキスパートに気軽に相談を行える遠隔窓口相談サービスへの拡張も検討している。

システムの選定にあたっては、55 拠点をすでに設置されているネットワーク上で負荷なく接続できること、来店顧客に必須条件である高品質な画像と音声を提供できることを重視し検討した結果 Visual Nexus を採用したという。

米 Verizon 社、NASA の HD テレビ会議を含む会議サービスの複数年契約による受注

米 Verizon 社 (Verizon Business) は、米国立航空宇宙局 (NASA) が、Verizon Business の会議サービスを採用すると発表。(1 月 14 日)

Verizon Business は、GSA の Networx Universal 契約を基に第一提供事業者として、電話会議、Web 会議、テレビ会議を NASA の各施設やセンターに会議サービスを提供する。Verizon Business は、GSA の FTS2001 契約を基に会議サービスを提供してきたが、今回はその更新契約となる。Networx Universal 契約は、2017 年まで有効となっている。契約金額は、全てのオプションを提供した場合、1 億 800 万 USD になる。

NASA は、連邦政府機関の中では、Verizon 社の会議サービスの最大ユーザ。

Networx Universal 契約では、FTS2001 契約で提供されていた従来の会議サービスに加え、HD テレビ会議サービスも追加される。

GSA は、US General Services Administration の略。米国連邦政府機関、職員向けの総務的なサービスを提供する機関。各機関が職務を遂行する上で必要となる通信サービス、事務所、オフィス家具、パソコン、電話、セキュリティなどの調達において、GSA が各機関を支援する。FTS2001 や Networx Universal は通信サービスに関する GSA の調達プログラム。GSA <http://www.gsa.gov/>

業界ビジネス動向-海外

米ライフサイズ社、2008 年もさらに HD 販売が拡大

米ライフサイズ・コミュニケーションズ社 (LifeSize Communications) の発表によると、HDビデオ会議システム販売の好調さから、同社の 2008 年の事業は、年後半は過去最高の売上を記録し、通年で見ると、前年の 150%増と拡大した。

2008 年ライフサイズ社は、まず 4 月に低コストで導入可能な HDビデオ会議システム「LifeSize Express Focus (ライフサイズ・エクスプレス・フォーカス)」を、さらに 10 月には、1080p 対応のハイエンドシステム「LifeSize Room 200」や「LifeSize Conference 200」を発表した。1080p/30fps や 720p/60fps に対応。



LifeSize Express Focus モデル 720p 対応



720p/1080p 対応 LifeSize Room 200

同社では、HDビデオ会議導入による、出張旅費の削減、生産性の向上、ビジネスパフォーマンスの向上などが

効果としてその認知が広がっている結果と見ている。

その結果販売拡大は、世界各地で見られ、同社は、社員採用を拡大し、「組織が70%拡大した。」(ライフサイズ社)という。同社本社があるテキサス州オースチンやインドバンガロールにある開発センターは、「Best Places to Work(働く場所として高評価されている企業)」として、Austin Business Journal 誌や Smart Techie Magazine 誌から受賞している。

米 Vidyo 社、フロスト&サリバンの北米市場プロダクト・オブ・ザ・イヤー賞を受賞

米 Vidyo 社は、米調査会社フロスト&サリバンの「北米市場プロダクト・オブ・ザ・イヤー賞(Product of the Year)」を受賞したことを発表した。(1月21日)

Vidyo 社は、スケーラブルビデオコーディング技術とその技術を活用した Vidyo 社のアーキテクチャーによって、パケットロスや帯域の変動、ネットワーク遅延などに柔軟に対応できる点が革新的であるとしてフロスト&サリバンから今回の賞を受賞した。

「この当社の技術(Vidyo Conferencing)によって、従来のテレビ会議を悩ましてきた遅延や映像のフリーズ、そして音声欠落などの問題の80%は解消される。それも、費用のかかるネットワークの更改や運用が難しい帯域管理へのコストや手間もかけずに行えるのが大きな利点だ。それによりHD品質がデスクトップ環境でも低コストで実現する。」(Vidyo社)

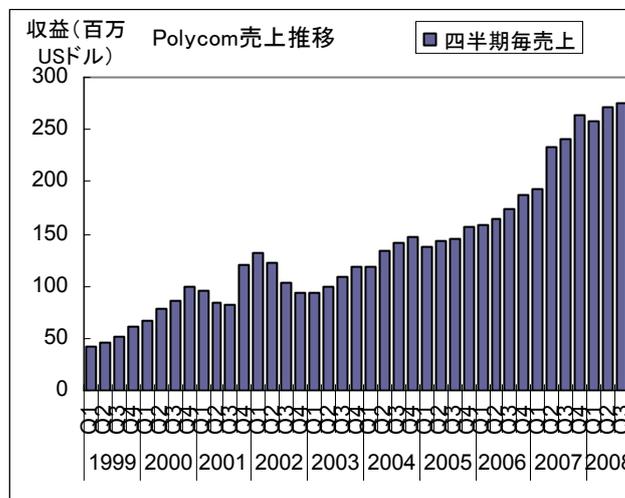
同社の技術は、すでに、2008年1月にシスコシステムズ、同年8月にShoreTel社、11月に日立コミュニケーションテクノロジー、そして、Googleと、各社に技術ライセンスすると発表されている。日立コミュニケーションテクノロジーの「NetCS-HD」、Googleは、Gmailのビデオチャット機能に採用されているようだ。

Vidyo 社は、ラドビジョン社で、MCUなどを開発していた Ofer Shapiro 氏によって2005年設立された。当初は、LayeredMedia社という社名だったが、2007年10月今のVidyo社(ヴィディオ)へ変更し現在に至る。

*Vidyo社関連記事: Vol.10 No.20, 2008年11月15日号など。

業績発表-海外

2008年7月-9月期(第三四半期)証券市場上場企業 ポリコム



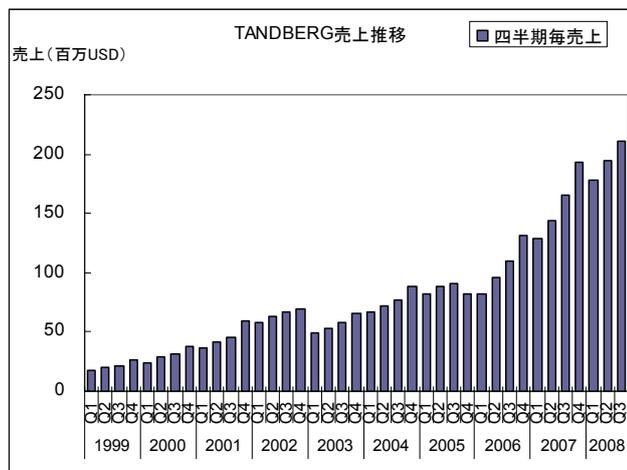
米ポリコム社の発表によると第三四半期の売上は、2億7580万USDを記録。第三四半期より2%増であったが、前年同期比で15%の伸びを示した。アジア、ラテンアメリカ、北米連邦政府向けに特に好調な成績だった。

売上構成では、ビデオ会議端末が52%(1億4420万USD)、ネットワークシステム(3,390万USD)が12%、音声会議端末が35%(9770万USD)だった。前年同期と比べそれぞれ売上金額ベースで増加している。ビデオ会議端末(グループ専用端末)の出荷台数は、過去最高の21,126台を記録、またデスクトップ製品は12,322台で「ほぼ最高記録に近い」(業績発表会でのCFO Michael R. Kourey氏コメント)。

さらに地域別では、北米が54%、EMEA(欧州、中東、アフリカ)が18%、ラテンアメリカが4%だった。

同社の業績発表会(10月開催)によると、まずテレプレゼンスソリューションとHDXシリーズの売上げは、ビデオ会議端末全売上の半分を超えたという。一方ネットワークシステムでは、RMXシリーズの好調さが売上げ増に結びついたと分析。今後は10月に発表されたPolycom CMAがネットワークシステム事業の売上をさらに後押しするだろうと期待感を見せた。

タンバーク (ノルウェー)



タンバークの第三四半期の売上は、2億1030万USDの過去最高を記録。前年同期の1億6530万USDに比較して27%増加した。

出荷台数は、17,487台で、前年同期の15,398台から14%増加した。またネットワーク製品の売上も前年比で111%成長した。

地域別では、南北アメリカは、1億910万USD(前年同期9,250万USD)、欧州中東アフリカは、7,740万USD(前年同期5,400万USD)、そしてアジア太平洋は、2,380万USD(前年同期1,890万USD)。北アメリカでは、特に連邦政府系の案件が全体の売上に寄与している。欧州では、全般的に健全に売上が伸びているが、北欧中欧が特に好調だった。一方アジアでは、北アジアでいくつかの大型案件、東南アジアでは政府関連、シンガポールと香港はエンタープライズ系、オーストラリアは教育系で好調だった。

提携関係では、タンバークとHPのアライアンス関連。タンバーク社は、ヒューレット・パカード®(HP)とのテレプレゼンスにおける提携を強化する。合意内容は以下の通り。(1) HPは、HP Halo マネージドサービスを導入した企業ユーザー向けにタンバークのテレプレゼンスやHDビデオ会議システム製品の販売取扱を行う。(2)タンバークが、HPのHalo マネージドサービスをオプションとしてグローバルカスタマーに提供する。(3)HPは、テレプレゼンスソリューションの製造と販売を今後も強化。日本での展開は未確認(CNAレポート)

セミナー・展示会情報

<国内>

大不況を乗り切る！3つのテレビ会議 有効活用 実践・体感セミナー即効性のあるテレビ会議の有効活用手法をお伝えします！

コース1:コスト削減と業務改善を簡単に行う会議システムとは？

コース2:もっと簡単に有効な会議ネットワーク構築手法とは？

コース3:もっと快適かつ高品質な会議システムの技術とは？

日時:1月21日(水)、23日(金)、27日(火)、29日(木)

2月5日(木)、6日(金)、12日(木)、13日(金)、19日(木)、24日(火)*参加希望日を選択。

会場:VTVジャパン 東京本社、大阪支社

主催:VTVジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/topics/seminar/200901.html>

ポリコムイマーシブテレプレゼンス無料体験プログラム

日時:1月26日から3月31日まで

*参加者希望日に応じて毎日開催。

会場:ポリコムジャパン(東京、紀尾井町)

プリンストンテクノロジー(東京、秋葉原)

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:http://www.polycom.co.jp/event/tp_experience/

グリーンIT×企業経営スリム化 ソリューション セミナー～もう一段上の「強固な経営基盤の実現」に向けて～

日時:2月3日13:30～16:45(受付13:00分～)

会場:沖電気工業株式会社 愛宕ショールーム

主催:沖電気ネットワークインテグレーション株式会社

詳細・申込:<http://www.okinw.co.jp/event/2009/090203.html>

*ビデオ会議システムのセミナーセッションもあり。

大塚商会 実践ソリューションフェア 2009

日時&会場:

ー2月4日(水)・5日(木)・6日(金)品川ホテルパシフィック東京

ー2月18日(水)・19日(木)グランキューブ大阪

主催:大塚商会株式会社

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/09/j/>

テレワーク新時代に向けて

- 普通の働き方になりつつあるテレワーク -

日時:2月16日(月)13:30-17:30

会場:ホテルルポール麹町(東京都千代田区)

主催:国土交通省

協力:社団法人日本テレワーク協会

詳細・申込:

http://www.japan-telework.or.jp/info/info_2009_01_21.html

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介